

テレビ/ケーブルテレビホームターミナル用リモートコマンダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

RM-P11D

© 2005 Sony Corporation Printed in China

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。
<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯電話 PHS一部のIP電話 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話 PHS一部のIP電話 0466-31-2531

FAX(共通) 0120-333-384 受付時間 月~金 9:00~20:00 土・日・祝 9:00~17:00
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-

取扱説明書をリモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

・安全のための注意事項を守る

・故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

・万一、異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険

この表示の注意事項を守らないと、火災、感電、破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電その他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

電池についての安全上の注意

液漏れ、破裂、発熱、発火、誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

△危険

乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

△警告

火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。

乾電池は充電しない。

機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。

乾電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出してください。

新しい乾電池と使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。

液漏れた乾電池は使わない。

△注意

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

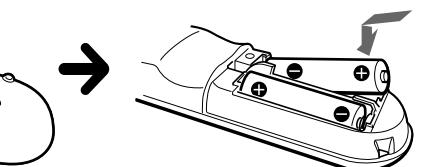
外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。

指定された種類以外の電池は使用しない。

準備

1 乾電池を入れる

付属の乾電池(単3形乾電池2個)を入れます。



2 メーカー設定をする

お買い上げ時はソニーのテレビとケーブルテレビホームターミナルが操作できるようになっています。

他社製の機器のリモコンとして使うには、必ずメーカー設定をしてください。

また、ソニー製の機器でも、うまく操作できない場合はメーカー設定をしてください。

本機は地上デジタル・BSデジタルの一部の機能(チャンネル変更機能のみ)にも対応しています。

ご注意

メーカー番号一覧表にあるメーカーの機器でも、年代・機種によっては操作できないものや、一部の機能が操作できないものもあります。

本機は以下の機器には対応していません。

— コンピュータ用モニター(テレビチューナー内蔵型を含む)

— スカイパーエクTV!チューナー内蔵テレビ

— DVDやHDDなどを搭載した複合機器

— プロジェクター

— 110度CSデジタル

— デジタル型ケーブルテレビホームターミナル

例) パナソニック(松下)のテレビの場合

1 テレビを押したまま数字ボタンを①→①→⑥と押す

* メーカー番号一覧表の中の数字の「0」は数字ボタンの⑩を使用します。
(右記「メーカー番号一覧表」参照)

2 テレビ電源ボタンから指を離す

設定が完了すると「ピー」という確認音が鳴ります。

例) 東芝のケーブルテレビホームターミナルの場合

1 テレビを押したまま数字ボタンを⑥→①→⑦と押す

* メーカー番号一覧表の中の数字の「0」は数字ボタンの⑩を使用します。
(右記「メーカー番号一覧表」参照)

2 ケーブル電源ボタンから指を離す

設定が完了すると「ピー」という確認音が鳴ります。

4つのボタンを同時に押しても設定できません。テレビ電源ボタンまたはケーブル電源ボタンは、最後まで押したまま離さずに、数字ボタンを順に押してください。

3 正しく設定できたか確認する

本機でテレビやケーブルテレビホームターミナルの電源入・切やチャンネルの切り換えをしてみてください(操作のしかたは右記または裏面参照)。

うまく操作できない場合は、メーカー設定をやり直してください。また、メーカー番号が何通りかある場合は、違う番号で試してみてください。

それでもうまく操作できない場合は、他社のメーカー番号を試してみてください。

設定が終わったら

正しく設定できたら、そのメーカー番号を電池ぶたの内側のラベルに記入しておくことをおすすめします。

メーカー番号一覧表

テレビ(アナログ地上・アナログBSチューナー内蔵)

メーカー メーカー番号
(テレビ電源ボタンを押したまま、3つの数字ボタンを順に押します。)

ソニー 111, 112, 113, 114, 115, 514

パナソニック/ナショナル(松下) 116, 117, 118, 517

東芝 119

日立 120, 121, 122, 522, 123

三菱 123, 124, 125, 116

ビクター(JVC) 126, 127, 128

サンヨー 129, 130, 131, 132, 526

アイワ 111, 133, 528, 529, 112, 113, 114

シャープ 134, 135

フナイ PRECIOUS

NEC 139, 140, 119

富士通 141, 142

パイオニア 143

フィリップス 144

その他 145, 146, 147, 148, 149, 150, 151, 152, 534, 535, 536, 537

テレビ(地上デジタル・BSデジタルチューナー内蔵)

メーカー メーカー番号
(テレビ電源ボタンを押したまま、3つの数字ボタンを順に押します。)

ソニー 211, 311, 312

パナソニック(松下) 411, 313

東芝 316, 314, 315

日立 412, 317

三菱 213, 212

ビクター(JVC) 216, 214

サンヨー 218, 217

シャープ 319, 318

パイオニア 219, 320

ケーブルテレビホームターミナル

メーカー メーカー番号(ケーブル電源ボタンを押ししたまま、3つの数字ボタンを順に押します。)

ソニー 611, 612*

パナソニック/ナショナル(松下) 614, 615, 616

東芝 617

日立 618

NEC 619

富士通 620

パイオニア 621

マスプロ電工 624

DXアンテナ 628, 621

住友電気 622, 623, 621

サイエンティフィック 624

アトランタ(SA) 625, 626

愛知電子 627

Wintersat 627

*: アナログBS/CSチューナー

テレビの操作

「準備」でメーカー設定が終わったら、本機をテレビに向けて操作します。

1 テレビの電源を入れる

2 「テレビ操作」に切り換える

3 チャンネルを選ぶ

4 音量を調節する

テレビ入力切換ボタン

オフタイマーボタン

画面表示ボタン

放送切換ボタン

アナログBSチャンネルボタン

チャンネル④/⑥ボタン

チャンネル⑤/⑦ボタン

チャンネル⑧/⑩ボタン

チャンネル⑨/⑪ボタン

チャンネル⑫/⑬ボタン

チャンネル⑭/⑯ボタン

チャンネル⑮/⑰ボタン</h

